

# 奔西走



へへの折り込みや市HP掲載がされましたが、選挙の情報提供が

◆正規教員、非正規教員の人数(割合)の推移

小・中学校	H30	R1	R2
正規教員 ※1	2639 (88%)	2694 (88%)	2701 (88%)
非正規教員 ※2	368 (12%)	367 (12%)	382 (12%)
非正規担任 ※3	265 (12%)	246 (11%)	280 (13%)

※1 正規教員には校長・副校長を含めない

※2 非正規教員は定数内講師

※3 担任割合=非正規の担任数/全担任数

市議会は10月、昨年度市決算を審査しました。東市議は14、15日、子ども・文教委員会審査を行い、学校給食の民間委託や市立幼稚園・保育園の廃止民営化などを行うべきでなかった事業だと指摘しました。

## お金の使い方をチェック 決算審査

市議会は10月、昨年度市決算を審査しました。東市議は14、15日、子ども・文教委員会審査を行い、学校給食の民間委託や市立幼稚園・保育園の廃止民営化などを行うべきでなかった事業だと指摘しました。

教員正規化は急務

岡山市は非正規教員の割合が高い上、多くがクラス担任まで務めています。市は正規教員の割合を増やしたいとは言うものの、実際は逆行しています(上表)。本気の対応を求めました。

把握できない? 児童虐待  
コロナのもとで児童虐待の増加が報道されていますが、市では把握件数が減っています。昨年度、こども総

### 選挙公報の全戸配布の再開を

10月の市長選挙から市は、選挙公報の全戸配布を廃止しました。全戸配布できなくなる業者がなくなったことを理由にしています。商業新聞

合相談所の人員が6人増えましたが、まだ人手不足だといっています。虐待を発見、対応できる体制が必要です。

給付型奨学金の改善を  
昨年度から高校生に年6万円支給する給付型奨学金が始まりましたが、利用は枠の半分もありませんでした。東市議は、所得激減世帯も給付条件に加えることを求め、市は検討すると答えました。

弱まったのは明白です。市に全戸配布の再開をねばり強く求めていきます。

開票の公開促進を  
10月31日投票の総選挙で、東市議は開票作業を見

票の振り分けや計数重は機械と人力で行っていました。



票の振り分けや計数重は機械と人力で行っていました。

### ひとこと

総選挙の結果、日本共産党は残念ながら2議席減の10議席でした。南区での比例代表の得票は3,444票で前回比86票増、19年参院選比23票増でした。  
選挙が終われば拡声器を使った宣伝ができます。投票日翌朝、南区福田で宣伝に立ち、市政報告とともに、市民と野党の共闘を広げて公約実現にがんばると話をしました。(東つよし)

る開票立会人になりました。開票自体は公正に行われたと判断しました。

開票作業は選挙区内であれば誰でも「参観人」として見に行くことができます。

しかし岡山市では開票所の場所が分からないという声が寄せられました。東市議は、選挙管理委員会事務局に開票所の場所をHPで公表することを求めました。